

公募内容

機関説明

徳島大学先端酵素学研究所は、「疾患酵素学研究センター」、「疾患プロテオゲノム研究センター」、「藤井節郎記念医科学センター」、「糖尿病臨床・研究開発センター」の4研究センターを統合することにより、酵素をはじめとするタンパク質の分子機能研究を基盤に、ゲノムから個体に至る生命情報を統合的に理解する先端的な基礎医学研究を推進し、国際的に先導的な成果を発信していくことで、健康長寿社会の実現に向けた難治性疾患および慢性疾患、とりわけ免疫難病と糖尿病の根本的理解と治療法の開発を目指す研究所です。生体機能学分野では、小胞体ストレス応答による生体機能制御とその破綻による疾患発症機構の解明を目指しております。現在、実施している地域イノベーション戦略支援プログラムのため、特任講師または特任助教を公募いたします。

仕事内容

当分野では、これまで世界に先駆けて小胞体ストレスが糖尿病の発症に関与することを報告してきました（PNAS 2001, 98, 10845- , JCI 2002 109 525-, Cell 2006 126 727- , Cell Metab. 2008 7 520-）。現在では、糖尿病だけではなく癌や免疫疾患などの小胞体ストレスが関与する様々な疾患についての研究を、培養細胞や遺伝子改変マウスあるいはヒト由来のサンプルを用いて、CRISPR/Cas9システムなどによるゲノム編集や次世代シーケンサーや質量分析機によるオミクス解析から展開しています。具体的には、下記の3つの研究テーマに取り組んでいます。

- 1) 小胞体ストレス応答制御機構の解明
- 2) 小胞体ストレス応答シグナルによる生体機能制御の解明
- 3) 小胞体ストレスを標的とした創薬開発

勤務地住所

徳島県徳島市蔵本町3丁目18番地の15

徳島大学先端酵素学研究所プロテオゲノム研究領域 生体機能分野

募集人員

特任講師または特任助教 1名
(単年度契約、更新あり。)

採用予定時期

平成30年9月1日

応募書類（送付先を含む）：

- 1) 略歴書（様式指定、応募書類作成要領参照）
- 2) 業績目録（様式指定、応募書類作成要領参照）
- 3) 推薦書（様式自由）
- 4) 抱負（様式自由、具体的に自分が描くキャリアプランなども記載ください）
- 5) これまでの研究概要（様式自由、具体的に自分で行うことができる解析技術を含めて記載ください）

応募締切

平成30年7月31日（火）必着

提出先・連絡先

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町3丁目18番地の15

徳島大学先端酵素学研究所プロテオゲノム研究領域 生体機能分野

教授 親泊政一

電話：088-633-9450

E-mail：oyadomar@genome.tokushima-u.ac.jp

※郵送の場合は簡易書留で送付し、封筒に「生体機能分野・特任教員応募書類在中」と朱書してください。なお、提出書類は返却しませんのでご注意ください。

選考内容

書類審査を行い、必要に応じて面接等をお願いすることがあります。なお、その際の旅費等は支給致しません。

待遇

- 1) 待遇は国立大学法人徳島大学特任職員就業規則の規定に基づきます。
- 2) 試用期間 あり（6ヶ月）ただし、国立大学法人，大学共同利用機関法人，独立行政法人国立高等専門学校機構，国，地方自治体又はこれらに準ずる機関の職員から引き続き大学の職員となった者については試用期間を付さない場合があります。
- 3) 勤務形態 1日7時間45分，週38時間45分勤務とするが専門業務型裁量労働制を適用し所定の勤務日に勤務した場合は、1日7時間45分勤務したものとみなします。
- 4) 給 与 年俸制
- 5) 加入保険 雇用保険，労災保険，厚生年金，健康保険

その他

- 1) 徳島大学の教員選考においては、国籍、性別及びハンディキャップ等による差別を排除し、真に優秀な人材を採用すべく、公平な選考を行います。
- 2) 提供していただいた個人情報、採用者の選考及び採用後の人事等の手続を行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

応募書類作成要領

1. 略歴書

- ・書式：A4版（縦）横書き（別紙「作成例」参照）
- ・大学卒業以後の学歴，学位，職歴について，全て記入してください。

2. 業績目録

- ・A4版（縦）横書きで作成してください。
- ・次の事項の記載があれば，体裁は問いません。
（誌上発表）①欧文原著
②和文原著
③欧文総説
④和文総説
⑤欧文著書
⑥和文著書等の順に，全著者名（候補者名にアンダーラインを引くこと），表題，誌名・書名，巻数，頁（始～終），発表年月（年代順）を記載し，通し番号を付けてください。

- （学会発表）①国際学会
②国内学会シンポジウム・ワークショップ・特別講演
③国内学会一般講演等
のそれぞれにおける発表について記入してください。
なお，それぞれ最近の主要なもの10題以下を記入してください。

3. 推薦書（様式自由）

4. 抱負（様式自由、できるだけ具体的に）

5. これまでの研究概要（様式自由、できるだけ具体的に）

(別紙「作成例」)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

略 歴 書

- ふりがな
1. 氏 名 〇〇〇〇 〇〇〇〇
 〇 〇 〇 〇
2. 生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (〇〇才) ※記載日現在
3. 現 職 〇〇大学〇〇研究所研究員
4. 現 住 所 〒〇〇〇-〇〇〇〇
 〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇〇 1-2-3
 (電話) () -
 (電子メール)
5. 学 歴 昭和〇〇年〇〇月 〇〇大学〇〇学部卒業
 平成〇〇年〇〇月 〇〇大学大学院〇〇学研究科修士課程修了
 平成〇〇年〇〇月 〇〇大学大学院〇〇学研究科博士課程修了
6. 学 位 博士 (〇〇) (〇〇大学甲〇第〇〇〇号)
7. 資 格 医籍登録 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (第〇〇〇〇号)
8. 職 歴 平成〇〇年〇〇月 〇〇大学〇学部附属病院において研究従事
 平成〇〇年〇〇月 〇〇研究所〇〇部門研究員
 平成〇〇年〇〇月 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇分野助教
 (現在に至る)